

2025年度保育所及び認定こども園における自己評価

本年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育・教育に活かせる内容で記入して下さい。

・ A B C D の4段階評価です。

A : たいへんよい
B : よい
C : 一部検討を要する
D : 改善を要する

保育所・こども園名 【 和歌山認定こども園 】

自己評価の観点	前年度の 評価	本年度 の評価
1. 園の保育理念・保育方針・保育目標の理解について		
① 会の保育理念を十分に理解し、日々の保育実践に活かしている	A	A
② 園の保育方針、保育目標を理解し、保育を実践している	A	A
評価の根拠 ・保育方針や保育目標を理解し、保育に活かしている。職員会議の前に読むことで、意識することができる。		
2. 保育について		
① 一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている	A	A
② 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定している	A	A
③ 評価、資料（諸記録）を集積している	B	B
④ 日々の保育実践について振り返りを行い、計画に生かし、子どもの育ちに反映させている	B	B
⑤ 園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるよう配慮している	A	A
⑥ 気候や子どもの活動にあわせ、温度・湿度・換気、照度など配慮している	A	A
⑦ 季節の草花などを飾るなど、保育の中で子どもが季節感を感じるように配慮を行っている	B	B
⑧ 子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができています	B	B
⑨ それぞれの子どもに関する必要な情報を共有している	B	B
⑩ 保育についての話し合いをよくしている	B	B
⑪ 保育士自身が楽しんで保育をしている	B	B
⑫ それぞれの役割を把握し、適切な動きができています	B	B
評価の根拠 ・子ども達が自然と関わり、季節を感じられることができた。 ・保育について語り合うことは以前に比べると少しづつ増えてきている。自分のクラスだけでなく、他のクラスの子どものことについても知る機会になった。今後も継続して続けられるようにしていきたい。 ・子どもがやりたいと思うことを一緒に楽しむことができてきている。		
3. 健康管理について		
① 日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心がけている	A	A
② 玩具、遊具等については、常に衛生的に保持している	A	B
③ 乳幼児突然死症候群（SIDS）や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている	A	A
評価の根拠 ・園児の健康状態に応じて保育内容に反映させている。 ・玩具の破損がないか確認をおこなっている。衛生面については、定期的に消毒等を行うなど衛生的にしているが、クラスでばらつきがある。 ・マニュアルは毎年見直しを行い、必要に応じて改定している。		
4. 行事について		
① 行事の種類や実施回数は適切である	A	A
② 行事のねらいを計画や実施に十分生かしている	A	A
評価の根拠 ・前年度の反省を踏まえ改善できた。 ・発表内容は日々の保育から選び、子どもと一緒に決めるなど、子どものやってみようことを発表出来た。		
5. 食育について		
① 食育を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している	B	B
② 旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	B	B
③ 調理担当者と子どものコミュニケーションが図られるようにしている	B	A
評価の根拠 ・実際に子どもが食事している様子を見て調理に反映することができた。 ・旬の食材を使って調理したり、実際に見たり触れたりする機会が増えた。続けていきたい。 ・調理担当者が一緒に食事をする機会を持ち、子どもとのコミュニケーションが増えた。		
6. 運営について		
① 園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある	B	B
② 各種会議を適切かつ効率的に進めている	B	B
③ 打合せ回数、時間、内容は適切である	B	B
評価の根拠 ・敏速な対応については、今後もベテラン、中堅と連携をおこないながら体制を強化していきたい。 ・職員会議の中で、給食会議をする等、会議の回数を増やさず効率的になったところもあるが、内容については、伝達や報告等は書面で伝達するなど効率化をすすめていきたい。		

自己評価の観点	前年度の 評価	本年度 の評価
7. 保健・安全指導について		
① 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じている	B	B
② 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している	A	A
③ 事故や災害に適応できるマニュアルをすぐに見ることができるようにしている	A	A
④ 廊下に落ちているものを拾ったり、トイレのスリッパを揃えたり意識している	A	A
⑤ 室内の衛生やクラス廻りの清掃など、気持ち良い環境に心がけている	B	B
評価の根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな想定を考えて避難訓練を行っている。 ・事故や災害に適応できるよう必要なマニュアルや事柄は、すぐに見ることができるようにしている。 ・毎日の清掃では出来ていないところを定期的に整理整頓していくようにして気持ちの良い環境を維持していきたい。 	
8. 研修について		
① 部内・部外研修への参加態勢の充実を図っている	A	A
② 研修報告を園内で実施している	B	B
評価の根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・どの職員も研修に参加する機会があった。 ・研修の報告は、復命書だけでは記憶にのこらないため、出来るだけ会議等で報告することを続けていきたい。 	
9. 情報管理について		
① 園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している	A	A
② 園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している	A	A
③ 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理している	A	A
評価の根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の管理についてはしっかり全員が理解しているが、ヒヤリハットの側面からも定期的に話し合い意識していきたい。 	
10. 設備について		
① 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている	A	A
② 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している	B	B
評価の根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・安全点検は毎日・月、年など定期的に様々な人の目で点検を行っている。 ・掲示物は見やすいように工夫を行っているが、掲示物が増えたと見えにくく感じるので、整理していきたい。 	
11. 保護者支援について		
① 子どもの送迎時に子どもの様子を伝えあうようにしている	A	A
② クラス懇談や個別懇談を行っている	A	A
③ 入園説明会やクラスごとの懇談会などでは保育内容や目的をわかりやすく説明し、情報提供を行っている	A	A
④ 保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている	A	A
評価の根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・入園説明会や保育参観等の行事で保育内容・目標を説明している。日々の保育についてもドキュメンテーションなどを活用し保育を理解してもらえるよう工夫している。 	
12. 開かれた園づくりについて		
① 園庭や保育室等を、地域の子育て親子等に解放している	A	A
② 職員による、育児に係る「子育て相談」は充実している	B	B
③ 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している	A	A
④ 中高生の職場体験や実習生の受入体制について、その意義や方針を全職員が理解している	B	A
⑤ 来客や地域の方に明るく挨拶をしている	A	A
評価の根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭や保育室を開放し、地域の子育て中の親子が子育て支援に参加している。また、子育ての悩みに対してアドバイスしたり、必要に応じて関係機関と連携し子育て講座を行っている。 ・子ども家庭センター等専門機関と連携をとり、情報提供を行い必要に応じて関係機関につないでいる。 ・今年は実習生や中学生の職場体験者も多く受け入れた。 	
13. 情報発信について		
① 保護者に向けて、コドモン、園だより等で情報発信に努めている	B	B
② 地域や小学校等に向けて、行事、子育て支援等の周知に努めている	B	B
評価の根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時や懇談時、ドキュメンテーションなどを通して子どもの様子を伝えている。 ・今年は介護施設との交流が再開することができ、フローレンス三寿と交流することができた。 ・地域に向けては掲示やホームページ等で周知に努めているが、小学校に向けては交流のみで終わっている。発信する方法を考えていきたい。 	
14. 人権擁護について		
① 園児一人ひとりの人格を尊重し、適切な言葉がけや関わりをしている	A	A
② 園児の家庭環境や国籍、性別等の多様性を認識し、差別のない関わりをしている	A	A
③ 園児や保護者のプライバシーに配慮し、適切な対応や関わりをしている	A	A
評価の根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・セルフチェックで自分の保育を振り返る機会を持っている。引き続き気づいたときに声を掛け合えるようにしたい。 	
15. 総括		
年間をととしての振り返りと、子どもの育ちをより豊かなものにするための保育の実現に向けて、今後力を入れて取り組みたい事柄や課題等をご記入ください。		
<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の課題に対する自己評価及び前年度よりも改善・充実したと考えられる点 ・保育について語り合うことが増え、自分のクラスだけでなく、他のクラスの子どもについても知ることができた。 ・子どもの興味を示している事に保育士も共に楽しんで取り組めた。 ・介護施設と交流が再開することができた。 ・食育の機会が増え、子どもたちがより「食」に興味を持つことが出来た。 ・課題だと考えられる点や次年度の計画に反映させたい点 		
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの理解を深めるための話し合いは定着するところまではいっていないので、今後も時間の工夫をしながら回数を重ね、いろんな見方から、気づきにつなげていきたい。 ・交流や連携については小学校側と温度差があるが、保育内容や行事について情報を発信を行い交流を続けていきたい。 ・食文化や旬の食材についてと伝える取り組みは保育士と調理員が連携し継続していく。 		